

自動運転サービス 導入サポート

自動運転サービス実装問い合わせ窓口 「ジドサポ」を開設

光安 皓

ITS・新道路創生本部 研究員

1 目的

「ジドサポ」とは、自動運転サービスの地域導入を検討したい自治体・地域団体・交通事業者向けに、情報提供やお問い合わせへの対応等、サポートを行うことを目的とした窓口である。自動運転サービスへの関心やニーズの高まり等を受け、（一財）道路新産業開発機構（以下、HIDO）が事務局となり、開設した。URLはhttps://

www.hido.or.jp/jidosapo/であり、HIDO ホームページのトップページ上のリンクからもアクセス可能である（図1、図2参照）。トップページでは、Webの利点を活かし、閲覧者が見たい項目に直接アクセスできるようにメニューを配置した。具体的には、以下のQRコードから直接アクセスしてご覧いただきたい。また、「ジドサポ」開設の告知を行うビラも作成し、関係各所へ配布中である（図3参照）。



図1 HIDO ホームページから「ジドサポ」へのアクセス方法（赤枠をクリックまたは右記QRコードからアクセス）



図2 「ジドサポ」トップページ（2021年4月現在）



図3 「ジドサポ」開設を宣伝するビラ

2 主な情報提供内容

「ジドサポ」で提供する主な情報提供内容を図4に示す。

2-1 各種ノウハウの提供

各種ノウハウの提供として、中山間地域をはじめとする地方部で自動運転サービスを実装するにあたって、最

低限必要となる共通事項を「導入マニュアル」として取りまとめたものをWeb上で配布している（図5参照）。

その他、実装にあたってのポイントをまとめたページや、ユーザの入力値に応じてWeb上でサービスの収支バランスの試算結果が見られるページ等（図6参照）、複数のコンテンツを用意している。今後も各種マニュアル類の提供を行う予定である。



図4 「ジドサボ」で提供する主な情報提供内容



図5 自動運転移動サービス「導入マニュアル」の内容（一部抜粋）

2-2 実装に向けた包括支援

実装に向けた包括支援として、問い合わせ窓口を設置している。2-1に記載した「導入マニュアル」のみでは解決できない地域環境や地域ニーズ等を踏まえたノウハウの提供や相談を行うことを目的としている。

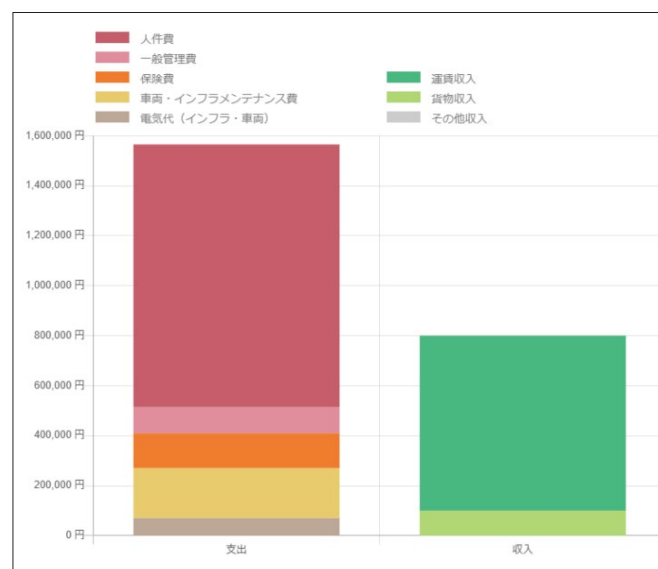


図6 サービスの収支バランスの試算例

2-3 運行管理システムの紹介

自動運転サービスの実装にあたっては、現場での運営や各種サービス提供を支援するプラットフォームとして運行管理システムを導入することが望ましい。HIDOでは、SIP事業（NEDO：自動運転・運転支援に係るアーキテクチャの設計及び構築のための調査研究）の支援を受けて開発した運行管理システム「もびすけ」の紹介・提供も行っている。「もびすけ」は図7に示すように、利用者予約、予約管理、乗降管理、ロケーション管理、車両監視等の運行管理に必要な機能をパッケージで提供するプラットフォームであり、地域のニーズに応じて機能をカスタマイズすることが可能である。

2-4 車両提供の斡旋

車両提供の斡旋として、HIDO がこれまで関わりのある車両提供者の紹介を行っている。カートタイプやバスタイプ等、地域環境や地域ニーズを踏まえ、適切な車両の選定支援も行う。

2-5 各種支援制度の紹介

各種支援制度の紹介として、自動運転サービスの実装に活用可能な国や都道府県が用意する各種支援制度のリストを HIDO で整理している（今後掲載予定）。

既に様々な支援制度が各主体から提供されているが、それら情報が各省庁や都道府県等の各部署からそれぞれ発出されており、且つ実装のどのフェーズで活用できるかが統一的に明示されていないところが課題であると認識しており、定期的に HIDO が情報整理を行うことで支援を実施する。

3 今後の展開

今後も、コンテンツの拡充や時点更新等を随時行い、自動運転サービスを地域へ導入を検討したい自治体・地域団体・交通事業者にとって有益な情報を提供していく予定である。

また、「ジドサポ」では、まとまった情報をホームページ上で提供することに加え、ブログや SNS（facebook、図 8 参照）といった形式で、最新情報や社会実装地域で



図7 運行管理システム「もびすけ」

の活動報告等も掲載する予定である。それぞれの URL は以下の通りである。

ブログ： <https://note.com/jidosapo>

SNS： <https://www.facebook.com/jidosapoHIDO>



図8 SNS (facebook) での最新情報の提供